

あなたにもできることがあります。

消防団員は、それぞれ自分の仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守りたい」という想いで活動をしています。災害時は、消火活動や救助活動を行い、平時は、火災を起こさないための火災予防や防災啓発など、様々な場面で活躍しています。二宮町消防団は、地域に根ざした5つの分団で組織されています。どなたにでもできることがたくさんあります。

**自分のまちを 守りたい**

撮影：令和元年9月15日（日）体力錬成大会（二宮町立体育館）

二宮町の将来のために

二宮町消防長 小 椋 淳 喜



本年4月、消防長に就任いたしました。その責任の重さを痛感するとともに、町民の大切な生命、財産を守るために誠心誠意職務に努める所存です。

消防団員の皆様には、二宮町の安全安心を守るために多大なる役割を果たしていただき、またその活動を支えていただいているご家族の皆様にも厚く感謝申し上げます。

近年、地球温暖化にともなう異常気象は日本に従来と大きく異なる災害をもたらし、消防団の役割も多様化し、その重要性が大きくなっております。先日の台風15号、19号の接近時に消防団員の方々は深夜、暴風雨の中、町内パトロールを絶え間なく実施し、数多くの倒木の処理等に尽力していただきました。

私は二宮町の将来のためにも、こうした消防団員、消防職員の活動を二宮町の地域住民の方にご理解いただき、子どもたちが将来消防団員、消防職員になって二宮町の安全を守ることを目標にしてもらえればと囑望しております。そのためにも消防団活動が安全に遂行できるよう努めていきますので、今後とも消防の任務達成のため、ご協力お願いいたします。

新しく仲間に加わった団員の声をお届けします

第一分団 (川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)



消防団の一員として 早瀬 龍海

自分は元は隣町の小田原市出身で3年ほど前に二宮に移り住みました。人のため公のために身を粉にして働く消防団の活動には小田原にいた頃より興味・関心があり、転職の機に入団いたしました。

そうして消防の仲間となり4ヶ月経ちましたが、気持ちだけではカバーしきれないことが山ほどあることを痛感しております。

実際の現場に出たときに、必要な正しい知識・技術を先輩方のご指導の元しっかりと身につけ、消防署・他分団との連携もスムーズに行えるよう、そして二宮町の防災の一助となれるよう努めていきたいです。

常備消防 消防署など

約16万人
地方公務員

常勤の職員が
消防業務に従事している

連携

消防団

約84万人

非常勤特別職の地方公務員

それぞれの仕事をもちながら、
災害等の際にその対応に当たる



第二分団 (上町・中町・下町)



消防団に入団して 大木 健司

数年前から入団のお誘いをいただいていたのですが、消防活動という大変なことが自分にできるのか、様々な年代や職業がいる団員の方たちと人間関係が上手くいくのかなど、不安がたくさんあり、なかなか入団の決意ができませんでした。

それでも、消防団を経験してきた職場の先輩団員やOBの方々から「消防団をやると地域の方とたくさん関わることができるし、経験することで絶対に自分自身にプラスになる。」というお言葉をいただき、今年の4月に入団しました。

実際に入団してみると、先輩団員の方々はとても優しく、気さくな人達ばかりで、団員全員が分団での活動や地域の事をとても真剣に考えながら日々取り組んでいて、半年経った今では、「第二分団に入って良かった！」と感じています。訓練時には厳しいご指導を頂いておりますが、これも真剣に取り組んでいるからこそだと思います。

まだまだ未熟ではありますが、これからも、自分自身を成長させながら、消防活動に取り組んでいきたいと思っております。



第五分団

(一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

第五分団に加わって

柳谷 裕之

故あって平成の終わりに消防団に加わらせていただくこととなりました。

消防団の存在は勿論知っていたわけですが、活動の内容についてはさしたることは知らず、防災巡回のイメージぐらい…



入団前に説明いただいた活動内容の広さに務まるか不安に思いながらのあつという間の約半年、まだまだ学ぶことだらけ、器具操作もひとつひとつ装備の名称やその扱い方等々、毎訓練時丁寧に教えていただいております。

昨今、自然災害が増え、水火災への備えが度々クローズアップされますが入団後の訓練時、近所の消火栓の場所すら把握していないことにも気づかされました。

災害はないに越したことはありませんが、いざというときのため、諸先輩方よりのご指導いただきながら消防団員としての所作を身につけ、遡れば明治からの歴史あるこの組織に、地域への感謝を込め微力ながら貢献できればと思います。

消防団に入団して 萩野 禎

私は2年前に二宮町に引越してきました。

下の娘も高校生になり手がかからなくなったので、二宮町の人達と交流を深めたりする事が出来たら良いなと思ってました。

上町の祭りの時に消防団の勧誘がありましたが、消防団の活動で仕事に支障をきたさないかととても心配でした。でも、「都合がつかない場合は仕事優先で！」の一言で不安は解消され、消防団に入団する事に決める事が出来ました。

色々と感じることばかりですが、動作1つにとっても先輩方からの確かなアドバイス及び指導をして頂き訓練を受けています。今は、消火活動の的確な基本動作の習得及び迅速な行動を取れる事を目標に取り組んでいます。

そして第二分団の先輩達に少しでも早く追いつき、一人前の消防団員になれるように今後も一生懸命努力していきたいと思っております。



第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)



消防団に入って 羽根輝哉

二宮に移住して、十年ほどになります。町に消防団があり活動していることを知りませんでした。妻の紹介で知る事になり、軽い気持ちで入団することにしました。入団してみると、規律や訓練など日常、仕事などでは、経験しないことばかりで、戸惑うばかりです。訓練も想像していたよりもハードでまともな動作もできず、迷惑をかけてばかりです。特に経験したことがない放水訓練では、すごく焦りました。

残念なのか？幸運なのか？出勤経験はまだありません。

いざ出勤になった場合、少しでも消防団の役に立てるように（迷惑をかけないように）訓練に励みたいと思います。



平成31年4月14日(日) 新入団員訓練 (二宮小学校)



消防団に入団して 入山祐巳

二宮町に居を構え、早7年が経ちました。また、その間に子供が生まれ家族も増えたことにより、自分の地域に対しての考え方が少しずつではありますが、変化しておりました。

そのような時にふと声をかけていただいた消防団というものに対して、自分の中ですんなりと受け入れることが出来、また入団前より丁寧に説明をいただいたこともあり、晴れて入団をさせていただきました。

実際の訓練においては、一から学ぶことばかりで、厳しくそして真剣に取り組まれる姿勢に身の引き締まる思いでした。しかし、世間一般では中年と呼ばれる年になってから、一生懸命に身体を動かし、新しいことにチャレンジ出来る機会があることは、とても楽しく気持ちの良いものです。

また、活動に参加をしたことにより、地域というものは消防団のような活動をされる方々がいて成り立っているということを、初めて身を感じる事が出来、敬服致しました。

今後も諸先輩方を見習いながら、消防団の活動に努力をしていきたいと思っています。

第四分団 (中里・百合が丘1丁目)



充実した消防団活動 大久保弘樹

私は、結婚を機に妻の地元である二宮町に住み始め10年が経ちました。

地域の行事で声をかけて頂いた事がきっかけで、入団させて頂き早1年となります。

経験の無い素人ではありましたが、諸先輩方から熱心に指導を頂きながら、技術の習得に日々奮闘しております。

今年度の体力錬成（ソフトバレーボール）大会では、厳しい練習を乗り越え見事優勝を飾ることができ、第四分団の一員となれた事を誇りに思うと共に結束力の強さを体感しました。

厳しい訓練もありますが、有事の際極限状態での活動・安全は積み上げてきた訓練と結束力が重要ではないかと思えます。諸先輩方から受け継がれてきた、防災への意識の高さや地域への貢献などを継承し、消防団活動を盛り上げていきたいと思っています。

子供が同じ小学校へ通う父親仲間としても交流ができ、学校行事についても楽しみが増えました。色々な面で入団前とは生活環境が変わり人間としての成長を実感しています。

早く一人前の消防団員となり、二宮町の安全を守っていると胸を張れる様努めていきたいと思っています。



消防団に入団して

戸丸祐介

私は二宮町民となってからまだ日が浅い中で消防団へのお誘いをいただき、二宮町のことを知りたい、いろいろな方との繋がりをもちたいという想いから入団を決意致しました。

入団後は、先輩や同期の皆さんが一から丁寧に教えて下さり、何もわからなかった私でも安心して訓練活動に参加できています。また、訓練以外の場面でもいろいろな面で助けてもらったり教えてもらうことも多く、消防団に入ったことによる人間関係の広がり、日々の仕事や生活を豊かにしているように感じています。

先日台風15号の際には入団後初めて招集がかかり、町内の巡視活動の中で庭木の倒木撤去作業などを行いました。住民の方から「本当に助かりました」のお言葉をいただいた際には、非常にやりがいを感じ、消防団員として活動している実感が湧いた瞬間でもありました。

今後も消防団員としての自覚を持ち、日々の訓練に努め有事に備えていきたいと思っています。

あなたの想いが、この町を守るエネルギーになります。

消防団員募集

町内在住・在勤で18歳以上の方(男女)
なら、どなたでも参加できます。

公務災害補償制度
被服の貸与
退職報償金
表彰制度

問い合わせ
消防本部 消防課
庶務班
☎72-0015

第一分団	(川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)
第二分団	(上町・中町・下町)
第三分団	(元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)
第四分団	(中里・百合が丘1丁目)
第五分団	(一色・緑が丘・百合が丘2・3丁目)

家族があつての消防団活動

8月18日(日) 消防団親交事業

家族の支えのあつての消防団活動です。
日頃の家族への労いもあり、家族を招待して、
親睦を深めました。

晴天となった当日は、地引き綱やビンゴ大会など、
家族や子ども達の笑顔が溢れていました。

ここには、職業や年代を超えて、志を共にする
仲間がいます。



消火器体験 「第20回 湘南にのみやふるさとまつり」にて
平成30年11月19日(日)実施

消防団活動のすすめ

二宮町消防団長 池田昌隆



日頃より町民の皆様には、消防団の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
令和の時代になって、地震、台風、集中豪雨、火災など様々な災害が発生しています。

「大雨特別警報」「土砂災害警戒情報」「警戒レベル」という言葉が身近なものになっており、
台風15号・19号では、二宮町で「警戒レベル4」が発令されて消防団は出動しています。

5つある分団が、それぞれの受け持ち管区の警戒で巡回をしています。

二宮町では大きな被害はなく、幸いでありましたが、我々消防団に寄せられる期待は、益々、大きなものとなっているのを感じています。消防団は将来にわたり欠くことのできない存在であります。

一方で、新入団員の確保は苦慮している状況で、毎年、地域の皆様にご協力を頂きながら、団員を確保しています。

我々消防団員は、通常各自の職業(本業)を持ちながら、「自らの手で災害から我が町を守ろう」という崇高な使命の下、
地域住民や社会のために活動をしています。自らの意志での参加であり、決して本業を犠牲にして行う危険な活動ではありません。また、多くの熱い想いの団員達に支えられています。20代から60代までの団員が在籍、様々な職業や年代を越えての交流も魅力であります。地域の人々と顔見知りになり、多くの友人をつくることは、子育てや日常生活を営む上で非常にプラスになると思います。いざという時に役立つ応急手当の技術や防災の知識が身につきます。

消防団員に興味のある方は、男女を問いません。お気軽にお問合わせください。

より多くの方に消防団活動へ参加していただくことにより、「安全・安心の二宮町」となることを願っています。